

第7節 環境教育・環境学習の推進

八王子は市域が186km²と広大なため、地域によって環境の現況や課題が異なることから、地域ごとの環境保全活動が重要となってきます。

また、今日の環境問題を解決していくためには、一人ひとりが環境問題に関心を持ち、環境保全に対する意識を高め、環境に配慮した行動を心がけるとともに、できるだけ環境に負荷をかけない生活をしていくことが必要です。

更に、このような生活様式・習慣を身につけるためには、幼い頃からの自然体験や環境学習などが重要となり、地域に根ざした環境教育・環境学習を推進するとともに、地域住民が一体となって環境への取り組みを推進するために、活動を支援する人材を育成し、活動拠点を整備しました。

1. 地域における環境学習の推進

(1) 環境学習リーダーの養成

地域における環境市民会議の活動を適切に支援することが
できる人材として環境学習リーダーを養成しました。全20回
の講座において、16年度は29名を認定し、認定者総数が9

主な講座一覧
生物多様性
里山・森林問題
企業の環境への取り組み
八王子の自然観察・地質巡検
浅川見学
清掃工場・下水処理場見学

3名になりました。この講座
の中で、受講生のグループで
研究した論文をホームページ
で公開しています。



環境学習リーダー養成講座

(2) 環境診断士の養成と環境指標「ちえっくどう」の普及活用



「ちえっくどう」を体験中
(環境フェスティバル)

市民・事業者が自ら環境について調べ、行動していくための
手引書である環境指標「ちえっくどう」を用いて環境診断を実
施する際に適切に指導・助言ができる人材として「環境診断士」
を養成しました。16年度は29名を認定し、認定者総数が
83名になりました。「ちえっくどう」を使用した地域の環境診
断は、環境市民会議が各々の地域で実施したほか、市民センタ
ーまつりや環境フェスティバル等で実施し、806名の方に体
験していただきました。

(3) 環境学習室「エコひろば」の整備

1月30日に北野余熱利用センター「あったかホール」の
2階に市民・事業者が環境について関心を持つきっかけづくり
と、環境保全活動団体等が、地域に根ざした活動を展開するた
めの活動拠点として環境学習室「エコひろば」を、開設しまし
た。当日は、オープニングセレモニーとオープニングフェスタ
を開催し、約3,500名が来場しました。



「エコひろば」オープニングセレモニー

「エコひろば」(環境学習室) 施設案内			
学習スペース	環境関連図書	活動推進スペース	設置機器
			

(4) 環境講座・啓発活動の展開

環境保全への意識の高揚を図るため、又自然体験学習の一環として「水辺のかんきょう教室」を浅川で開催し、小学生104名が水生生物の観察などを行い、水辺環境について学習しました。

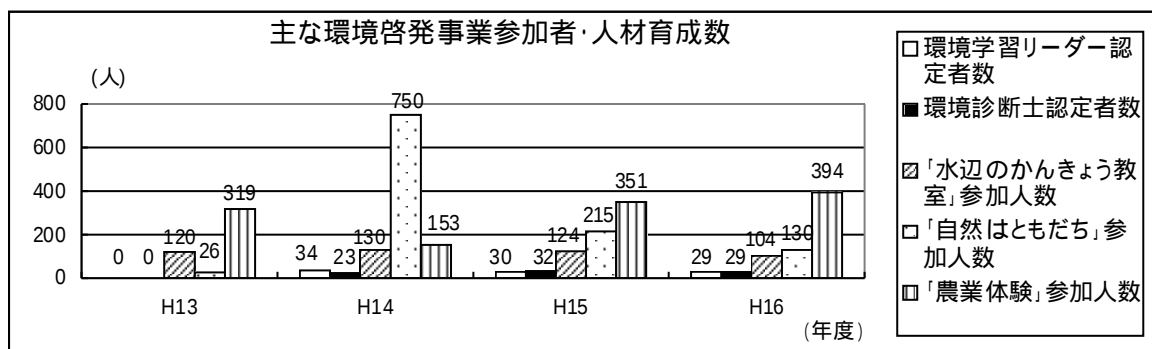
また、企業、環境団体、環境市民会議、大学及び行政が協働のもと、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図り、環境保全を推進することを目的に「環境フェスティバル」を、市庁舎前浅川河川敷広場において開催しました。毎年1万名ほどの参加者でにぎわっています。



環境フェスティバル会場

更に、生活排水の汚れを減らすために、16年度は、川町(約220世帯)で生活排水モデル地区活動を実施していくとともに、くらしの見直し展などで啓発活動を行いました。

そのほか、小・中学校における総合的学習の時間や市民主催の学習会等に市の職員が講師として出向く「はちおうじ出前講座」を実施し、環境教育・環境学習を支援し、環境意識の向上を図っています。



主な出前講座一覧

講座名	内容	参加人数
ふるさとの清流をめざして	川の汚れの現状や原因、家庭での生活排水対策を説明する。	126名
川とともだちになろう	川の生物や簡易な水質検査を通じて川の汚れを調べる。	204名
自然は友だち	生き物や暮らしとともに大気や水質のデータを紹介する。	130名
ごみ減量とリサイクル	ごみの減量と再利用の大切さを学んでもらうために、ごみと資源の分別について説明する。	1,563名

2．環境教育の充実

(1)「学校教育における環境教育基本方針」の策定

学校教育における環境教育を一層推進するため、「学校教育における八王子市環境教育基本方針」の策定に向けて検討を行いました。この基本方針は環境問題を解決していく行動力をもった人を育成することを目標とし

て、右に掲げた3つの柱のもと具体的な取り組みを盛り込みました。

今後、環境教育モデル校の指定や環境教育副読本を発行し、環境教育の充実を図っていきます。

学校教育における八王子市環境教育基本方針3つの柱

環境教育の基盤整備

環境教育情報の充実

地域との連携による環境教育の充実

(2) 環境教育副読本の作成

小学生の頃から、ごみ減量・リサイクルの意識を育てるため、社会科の副読本として「きれいなまち八王子」を作成するとともに、川への関心を高めるために「川と友だちになるノート」を作成、毎年小学校4年生に配布し、学校での環境教育の充実を図っています。

3．環境情報の提供

(1)「かんきょう八王子」の発行

大気や水質の測定結果などをまとめた「かんきょう八王子」や、ごみ処理事業をまとめた「清掃事業概要」を毎年、発行しています。16年度は「八王子の環境概要」を作成し、ホームページにも掲載することにより、より多くの方々にわかりやすい情報の提供をすることに努めました。

(2) 八王子市環境部ホームページの環境情報発信

環境部のホームページ(<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankyo/>)において、環境情報を提供しています。16年度は、ごみの有料化が実施されたことにより、資源物・ごみの出し方や分別の仕方などについて内容を充実しました。

環境部ホームページ情報一覧

主 な タ イ ト ル	主 な 内 容
資源物・ごみの出し方	資源物・ごみの分別一覧表、家庭ごみ・資源物収集カレンダー
リサイクル情報	ごみをつくらない3つのR、リサイクルタウン八王子バックナンバー
公害規制情報	環境モニタリング結果、公害の相談、自動車公害対策
みどりをふやす	花づくり事業、生け垣補助、八王子の湧水
施設情報	清掃施設の概要、あったかホール
環境基本条例	環境基本条例全文、環境審議会、環境推進会議

4. 評価

環境基本計画における5つの重点取り組みの内「環境教育・環境学習」の分野について、市の担当所管が総合評価したものを庁内環境調整委員会が総括評価し、その評価を環境推進会議で相互評価しています。

評価の段階は下表のとおりとなります。

大きな成果をあげた
当初の目標を達成した
今後努力が必要

相互評価

<市の内部総括評価>

学校教育における環境教育基本方針が検討され、これからの環境教育の推進に向けた基礎づくりができたことは評価できる。環境学習リーダー及び環境診断士の育成については目標に近づきつつあるが、その人材について、環境市民会議において活用できるようはたらきかけること。

また、情報の収集・発信については拡充を図るとともに、計画的に行うこと。

<環境推進会議での相互評価>

環境学習リーダー及び環境診断士はもとより、市民・事業者の中には多くの環境に優れた人材がいると思われるので、その活用を図られたい。

市が情報の収集・発信基地となるよう整備してほしい。



環境学習リーダー養成講座
(八王子の自然観察・地質巡検)



新エネルギー教室